



「テロ対策パートナーシップ和歌山」通信(第8号)

令和2年2月12日

和歌山県警察本部

令和元年度和歌山県国民保護共同実動訓練

東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京大会」）を見据え、本年1月22日、和歌山市内の紀三井寺競技場及び和歌山下津港西浜埠頭において行われた「和歌山県国民保護共同実動訓練（和歌山県主催）」に「テロ対策パートナーシップ和歌山」会員から複数の方が訓練実施者として参加したほか、本パートナーシップ会員から全体で10団体14名の方が視察参加しました。

国際情勢はめまぐるしく変化し、厳しいテロ情勢が継続する中、東京大会開催年を迎え、いよいよ4月には、聖火リレーが和歌山県内を縦断することとなります。

本パートナーシップ会員におかれましては、今一度、「国内・県内では、テロは絶対に起こさせない」という意識を関係者間で高めましょう。

○ 紀三井寺競技場での訓練

『メインスタンドで爆発事案が発生、負傷者が多数出た』という想定の下、関係機関が連携し、

- ◇避難誘導
- ◇通報
- ◇救出及び救助
- ◇現場指揮
- ◇不審者・不審物検索

等の訓練を行い、訓練評価員と本パートナーシップ会員が視察しました。



訓練視察



救出救助



現場指揮所付近



会場内検索

○ 和歌山下津港西浜埠頭での訓練

『紀三井寺競技場における爆破テロ事案の発生を受け、テロリストの逃走防止及び同日西浜埠頭に着岸したクルーズ船からのテロリスト等の更なる侵入防止を図る』という想定の下、関係機関が連携し

- ◇テロリストの追跡・逮捕
- ◇不審者の入国拒否
- ◇危険物の持ち込み防止
- ◇小型船による不審者の侵入防止

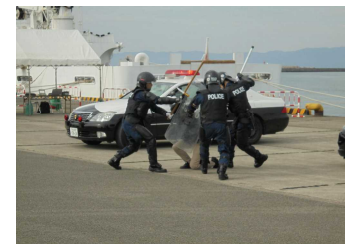
など各種訓練を行いました。



訓練視察



クルーズ船乗客に対する入国審査及び手荷物検査



逃走テロリストの制圧・逮捕



不審船の侵入阻止

会員の皆様が実施されたテロ対策に関する活動状況をお寄せください。